

令和4年2月25日

保護者 様

三木市立吉川小学校  
校長 長谷川 珠里

## 吉川小学校開校を迎えて（40）

梅花の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

2月16日（水）から統合記念壁画づくりを行っています。デザインを児童に募集したところ、東吉川小学校と吉川小学校を合わせて100人の応募がありました。東吉川小学校統合準備部会で2作品にしぼり、原画を作成しました。先週から今週にかけて着色し、2校交流事業の際に東吉川小学校が仕上げる予定としています。

引き続き今後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から2/18付で計39回）に加えて、これから少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

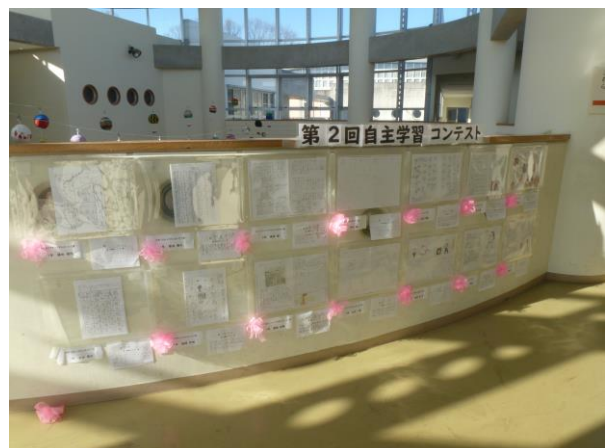
なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じてご確認ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。

### I 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

#### （1）第2回自主学習コンテスト





第2回自主学習コンテストを行っています。各自で学びを深められるような取組です。

すべての学年の掲示をしていますので、互いに学び合ってほしいと思います。学校での学習も自宅での学習も良いリズムを作っていってほしいと思います。

加えて、理解不足なところや分かりにくいところを学び直せる（学年に拘らずに）時間を今後は設けていきたいと思っています。

## 2 統合記念壁画の作成



2月16日（水）教職員で下絵を描きました。2月17日（木）6年生が色を塗りました。



2月18日（金）5年生、21日（月）4年生、22日（火）3年生と色を塗っていききました。2年生は24日（木）、1年生は25日（金）に色を塗りました。

2月28日の2校交流会の日に、東吉川小学校の児童も色を塗り完成します。新型コロナウイルス感染症対策のため対面での授業交流はできませんが、登校練習後に東吉川小学校の子ども達が少しずつ色を塗る予定としています。

### 3 吉川小学校の歌づくり

令和3年7月20日付「吉川小学校開校を迎えて(15)」では以下のようなお知らせをしています。



登校してから朝の会が始まるまでの時間や業間、昼休みには、第2図書室（コモンホール）に置いているピアノを奏でる子ども達があります。そして、その音色を楽しそうに聞いている子ども達もいて皆が集える場となっています。

子ども達が楽しそうに集って、流行りの曲や校歌等を弾いている様子を見ていて、新しく開校した「吉川小学校の歌」を子ども達と共につくる計画をしています。

(略)

吉川小学校の皆さんに募集をしていた言葉を参考に、歌詞を作ってみました。メロディは現在募集中です。楽譜でなくても大丈夫です。歌ってみてくださいとしています。

作詞：吉川小学校児童 作曲：吉川小学校児童

#### 1番

みんな 集まっておいでよ いっしょに遊ぼう  
みんな 集まっておいでよ いっしょに学ぼう

笑顔 きらきら みんなで楽しく 吉川っ子  
元気 いっぱい みんなの学校 吉川っ子

助け合い 笑顔の種を ひらけ※ 吉川小学校



※ ひらけ から まこう に変更。

2番・3番は、2学期・3学期に作る予定としていましたが、令和4年度に東吉川小学校と統合してから作る事に変更しました。次年度に児童や保護者に募集をして完成させたいと思っています。

### 4 タブレットを活用した授業の動画配信について

2月15日(火)に予定していたタブレットを活用した授業参観を後日(2月18日(金)から2月20日(日)まで)、動画で参観いただけるように配信しました。来校しての参観



が新型コロナウイルス感染症対策のため実施する事が出来なかったための代案です。

来校しての授業参観ができるようになるまでは、種々の工夫をしながら学びを継続していきたいと思います。


## 5 小中一貫教育実践推進校の取組について

三木市では「広報みき」でもお知らせしているとおり、「子どもたちを9年間で見守り育てていく小中一貫教育への移行」を進めています。令和3年度を小中一貫教育への「移行元年」と定め、教職員への周知や導入に向けた準備を始めています。今年度は、全教員を対象とした講師招聘研修や小・中学校教員交流研修等を行い、小中一貫教育を全市的に推進しています。

特に1小1中の校区（別所中校区と吉川中校区）は、小中学校間の連携や交流が図りやすいことから、三木市の方針として令和4年度から小中一貫教育実践推進校としての取組を始める事となっています。

具体的な取組の一つとして、小学校と中学校とで合同の運動会の準備を進めていきます。学校行事を一緒に行うには、事前に教職員の交流が必要となります。加えて、児童会や生徒会を通じた児童と生徒の交流も必要となります。

また、学校行事のみならず、学習や生徒指導面での連携もより図りやすく、小学校6年間・中学校3年間という従来の枠組ではなく、小中一貫校（9年間）としての準備を進めていくためには良い機会となると考えています。



時代は大きく変わっています。小中一貫校のみならず、国の施策として、1人1台のタブレットが導入され、プログラミング教育の推進が求められています。本校の教職員には、「鉛筆とノートがあれば、タブレットを活用しなくてもできる」等の心（意識）の壁は今すぐ取り除きましょう。」と伝えています。

「アナログとタブレットの併用（言い換えるとベストミックス）を積極的に進めていく」という意識を持つ事が大切です。変化の激しい時代にたくましく生き抜く子ども達を保護者と共に、育てていきたいと思います。ご理解・ご協力をお願いします。